

授業科目名	知と表現のデザイン	担当教員	井原 麗奈
必修の区分	必修		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1年 第1・3クォーター		
講義内容	<p>高校までの学習と大学での研究の違いを意識して、主体的に協働して学ぶ技術と態度を育てる。情報収集、発信、一般的な知識と技術を習得するとともに、チームで協働して、地域の課題を発見し、実際に足を運んで情報を収集し、考察を加え、報告書や発表会などで発信するプロジェクト型の学習を通して、学んだ知識や技術を、将来のキャリアに活かすための実践的な体験をする。</p>		
到達目標	<p>以下のようなアカデミックスキルを身につけ、大学生として必要な、自ら課題を発見して適切に情報を収集し、的確に発信する態度と能力を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学習方法（ノートテイキング、学習環境整備等） ・データや文献の検索、収集、読解、集計、整理の方法 ・協働学習の方法 ・発信の方法（レポートの書き方、プレゼンテーション） 		
授業計画	<p>第1回 大学で学ぶということ（受動的な学習から主体的な研究へ） 第2回 講義の活用法、ノートの作り方、学習環境の整備、情報機器の使い方 第3回 データや資料の検索、収集法 図書館の使い方、文献一覧の作成 第4回 アカデミックリーディング（事実・推測・意見／主張・解説の区別） 第5回 アカデミックリーディング（パラグラフの構造、接続、配列、要約） 第6回 アカデミックリーディング（理由、原因、根拠、批判的読解） 第7回 研究倫理 第8回 但馬地域研究（地域の概要を知る） 第9回 但馬地域研究（問を立てる） 第10回 但馬地域研究（フィールドワークを企画する） 第11回 但馬地域研究（訪問先への質問を考え、アポイントメントをとる） 第12回 中間発表、前期まとめ 第13回 但馬地域研究（フィールドワークの口頭報告） 第14回 但馬地域研究（資料の整理） 第15回 アカデミックライティング（レポートの構成、データの整理集計）</p>		

	<p>第 16 回 アカデミックライティング（引用の仕方、注のつけ方、データ活用）</p> <p>第 17 回 但馬地域研究（報告書の作成）</p> <p>第 18 回 但馬地域研究（報告書の仕上げ）</p> <p>第 19 回 アカデミックプレゼンテーション（口頭発表の仕方）</p> <p>第 20 回 アカデミックプレゼンテーション（ポスターの作成法）</p> <p>第 21 回 但馬地域研究（プレゼンテーションの準備）</p> <p>第 22 回 但馬地域研究（プレゼンテーションの仕上げ）</p> <p>第 23 回 但馬地域研究発表会</p> <p>第 24 回 全体振り返り</p> <p>☆授業計画は変更することがある。クラス担任が 1Q 初回の授業で説明する。</p>
事前・事後 学習	クラス担任が適宜指示するが、予習・復習として、事前調査や事後課題、レポートの提出を行うこと。
テキスト	担当教員より適宜指示する。例)『アカデミックスキルズ 第 3 版』佐藤望ほか 3 名編著、慶應義塾大学出版会, 2020
参考文献	クラス担任が適宜指示する。
成績評価 の 基 準	授業・グループワークへの主体的、協同的な参加（50%）、レポート提出（50%）
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	2021 年度カリキュラムの科目（旧カリ対応）